

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	1	森林・里山環境の保全			
事業名	菩提寺山市民の森維持管理事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	8	菩提寺山市民の森維持管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
菩提寺山は、昭和54年の山火事により約10haを焼失。その復旧と治山・森林保全及び保健効果を狙いとして森林を造成・改良し、社会生活に深く結びついた自然とのふれあいの場を提供することを目的として、昭和57年から3年間、山口県が主体となった「生活環境保全林整備事業」により約30haを整備。また昭和59年度から「菩提寺山ふれあいと健康の森整備事業(単市)」により案内板や東屋、トイレ等を整備。		施設維持管理		給水施設の保守管理、清掃委託、受光伐、下刈り、防火帯整備	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
森林保全・保健機能の維持			除伐・防火帯整備		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
-	-	5.95ha	5.95ha		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	302	233,049	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	31	28,595		県支出金 ()		
	委託料	2,806	2,804,750		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		3,139	3,066,394	
合計		3,139	3,066,394	合計		3,139	3,066,394
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
施設の老朽化が進行。保健機能の増進のためには、更なる森林整備が必要	給水施設・遊歩道の改修、受光伐の実施。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	農林水産課	農林係	No	2
-----	-------	-----	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	1	森林・里山環境の保全			
事業名	山林環境整備事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業総務費
	細目	1	林業総務費	細々目	1	林業総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			()	予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
国の緊急雇用対策事業を活用し、平成21年度から平成23年度にかけて、林道の維持管理、山林、竹林の環境整備を行う。	山林の環境を保全することを目的に、市内の森林整備及び林道等の維持管理等を行う。	業務委託契約を締結。仕様書の雇用計画により新規雇用者を確保し業務実施	
活動指標		成果指標	
仕様書に基づく業務委託契約を締結		実施箇所・林道本数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
新規雇用4名 雇用日数260日	新規雇用4名 雇用日数299日	2か所 9本	2か所 9本
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託費	4,788	4,788,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()	4,788	4,788,000
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()				
合計		4,788	4,788,000	合計		4,788	4,788,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改	善	策
なし		なし		

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	農林水産課	耕地係	No	1	
大項目(政策)	中項目(施策)		小項目(基本事業)		
8 自然環境の保全と活用	2 自然環境の保全と適正活用	2 農地環境の保全			
事業名	農地・水・環境保全向上対策事業				
款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地総務費
細目	1 農地総務費	細々目	4 農地・水・環境保全向上対策事業	会計種別	一般会計
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()		予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
農業従事者の高齢化、担い手不足により耕作放棄地の増加、農村環境の悪化が懸念されている。そのような中で、農地、農村の持つ多面的な機能の維持・保全に取り組む必要がある。	農業者だけでなく、非農業者も一緒に活動を実施することで、地域の環境を守る意識の高揚が図られる。	活動組織の維持・保全活動に対して補助金を交付する。	
活動指標		成果指標	
活動対象農用地面積		対象となる活動項目数×50%	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
5,487(ha)	5,487(ha)	433(項目)	588(項目)
			成果指標の到達度(B/A)
			135.8%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	需用費	231	231,000	財(源割内訳)	国庫支出金	3		
	負担金、補助及び交付金	8,285	8,068,080		県支出金	()	231	231,000
					地方債	()		
					その他	()		
				一般財源	97	8,285	8,068,080	
合計		8,516	8,299,080	合計		8,516	8,299,080	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.45	2,826,000					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
採択要件の変更が多々実施されたため、実施者に不信感を抱かせている。	実施者と協議を重ね、現計画の推進を図る。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		市民生活部環境課		環境保全係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	3	海・河川環境の保全			
事業名	河川海岸保全事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			()		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
自然環境は、水源の涵養、大気浄化、景観形成など多くの公益的機能を有しており、また、多くの動植物の生存の場として人間を含むすべての生態系を支える源であるため、森林・農地や海・河川などの自然環境の保全に努める必要がある。		地域住民・ボランティア団体等を行う河川・海岸などの清掃活動を支援することにより、海・河川などの自然環境の保全を図る。		地域住民・ボランティア団体等を行う河川・海岸などの清掃活動を支援する。	
活動指標			成果指標		
河川海岸清掃参加地区数			河川海岸清掃参加人数、収集トラック数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(A/B)	
5地区(有帆・厚狭・出合・厚陽・埴生)		5地区		100%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		参加人数5,000人超、収集トラック102台	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	清掃委託料	760	482,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	残土運搬等委託料		321,000		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	760	803,000
合計		760	803,000	合計		760	803,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
・現在は、各地区の自治会協議会が主体となって善意的に取り組んでもらっているが、今後も継続をしていただけるかどうか。 ・各地区共に清掃箇所が広範囲である。高齢化が進み、定期的に夏場の作業でもあるため、かなりきつい作業となっている。	・市としてできるバツカー車の出動・草の回収は、最大限の支援を今後も行う必要がある。 ・両岸斜面の危険箇所や草の回収が難しい箇所など作業範囲の状況報告と、県土木建築事務所との協議が必要と考える。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--